

令和7年度
玉村町国際教育特区
フェリーチェ玉村国際小学校
学校評価結果表
E票

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

I 法令事項に関すること

表 題	適○ 否×	備考
1 学級編制に関すること *1学級の児童数 *学年の編制	○	
2 教科用図書の無償給与に関すること *教科用図書の無償給与	○	
3 学校保健と学校安全に関すること *定期健康診断の実施 *疾病の予防措置や管理指導 *環境衛生検査 *学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の配置 *学校保健計画 *学校安全計画 *危険等発生時対処要領	○	
4 教育課程及び教材に関すること *学期及び休業日 *教育課程の編成 *教科用図書の使用状況	○	
5 校務分掌に関すること *校務分掌の仕組み	○	
6 学校評価に関すること *法に基づいた学校評価の実施	○	
7 教職員に関すること *校長、教諭、養護教諭(看護師)及び事務職員の配置 *免許状 *校長の資格 *教諭の配置状況	○	

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

I 法令事項に関すること

表 題	適○ 否×	備考
8 学校設置会社の業務及び財産の状況の公開に関すること *業務及び財産の状況の閲覧にかかる準備	○	
9 いじめ防止に関すること *学校いじめ防止基本方針の策定 *いじめ防止等対策のための組織の設置	○	
10 表簿に関すること *学校に備えておくべき表簿	○	

Ⅱ 教育内容等**【評定基準】****評定A 「優れた取組が行われている」**

特色ある優れた取組が行われ、教育効果を上げている。
または今後、教育効果が期待される。

評定B 「適切な取組が行われている」

適切な取組が行われ、通常求められる学校運営が実施されている。

評定C 「取組の改善が求められる」

取組に課題があり、早急に改善が求められる。

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 11		教育課程に関すること
No.	評 価 項 目	評 定
1	学校の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解に努めているか。	A
2	児童の学力・体力の状況を把握し、それを指導に活かそうと努めているか。	B
3	体験活動、学校行事などの実施にあたり、どのように取り組んでいるのか。適切な指導・管理体制の下に実施されているか。	B
4	各教科の年間指導計画が、学習指導要領に則り作成されているか。	B
総 評	学習指導要領及び教育課程特例校の申請に基づき、日本の教育内容を基本としつつ英語力の向上を図る、英語バイリンガル教育の充実を図っている。低学年の生活科と中・高学年の総合的な学習の時間の指導も英語で実施している。日本語の力を高めることも大切という考えの下に、日本語による国語・算数の学習にも力を入れている。日本語、外国語それぞれの評価には外部のテストも活用し、客観的な評価を得られるようにしている。これらの教育活動については、日本人教員と外国人教員が共に会議や相互の授業参観を通して日常的に共通理解を図っている。	

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 12		学習指導に関すること	
No.	評 価 項 目	評 定	
1	学習指導要領に則り、児童の発達段階に即した指導がなされているか。	B	
2	体験的な学習や問題解決的な学習および、児童の興味関心を生かした自主的・自発的な学習が適切に行われるよう努めているか。	B	
3	学級内における児童の様子への把握や、学習に適した環境の整備など、学級経営が適切に行われているか。	A	
4	各教科で教科書とともに使用される英語版の資料は、学習指導要領に則った適切なものか。	B	
総 評	英語指導では児童の年齢に合わせたアメリカの教科書を用いており、児童の過度な負担にならないように適正な指導を行っている。また、フェリーチェ英語フェスティバル、運動会、クリスマス発表会等、学習したことを表現できる学校行事も積極的に行っている。また、体験的、問題解決的な学習も意識して行っており、児童一人一人が考えをもって取り組めるようにしている。そして、児童が読書への興味を高め、たくさん日本に触れられるよう、学校司書が図書室の環境整備や読書に関するイベントを数多く企画・実施している。		

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 13		児童指導に関すること
No.	評 価 項 目	評 定
1	全職員が児童指導に取り組めるように、体制が整備されているか。	A
2	保護者や地域社会、関係機関等と連携協力が図られているか。	B
3	自ら考え、自主的・自律的に行動でき、自らの言動に責任を負うことができるよう、適切な指導に努めているか。	B
4	保護者と連携・協力して、基本的な生活習慣が身につけられるよう努めているか。	B
5	学校生活全体を通し、豊かな人間関係づくりに努めているか。	B
6	命の大切さや環境の保全、社会の一員としての意識(公平・公正、勤労、奉仕、公共心、公聴心や情報モラル等)や、規範意識の向上に努めているか。	A
7	いじめ防止基本方針に基づいた取組が計画的に行われているか。	B
総 評	教師経験が少ない教師や外国人教師など多様な教職員間で共通理解を図りながら児童指導を行っている。各教室にカメラを設置し、児童間のトラブル解決や児童の見えないがんばりの見取りに役立っている。保護者に対しても、新学期に新年度説明会を行ったり、メールシステムを活用したりして、連携しながら児童指導や基本的な生活習慣作りに努めている。	

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 14		教職員研修に関すること	
No.	評 価 項 目	評 定	
1	校内、校外における研究・研修等を通じて教職員の資質・能力向上についての取り組みがなされているか。	A	
2	教職員の自主的な研究・研修等についての支援体制が整っているか。	B	
総 評	「主体的に取り組み、学び深め合う児童の育成～算数科・国語科において思考力、表現力を高める指導の工夫を通して～」を研究主題として、子供たちが授業の中で自分の考えを自分なりの方法で表現することを大切にしている。日本人教員の研修主任が中心となり、全教員が各自の目標を立てるとともに、1人1人が年に一度以上は授業を他の教員に見てもらおう機会を設けている。取り組んでいる。子供がインプットとアウトプットを繰り返す機会を充実させることで、問題を自分事として捉えて学ぶ子供が育っている。		

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 15		学校保健に関すること	
No.	評 価 項 目	評 定	
1	定期健康診断等の結果が適切な管理の下、必要に応じ迅速に取り出せる状況にあるか。また、児童の健康状態の把握等が適正に行われる状況であるか。	B	
2	スポーツ振興センター災害共済給付への加入等学校管理下での災害に対応する環境が整っているか。	B	
3	怪我、病気、アレルギー等の児童の緊急時に適切な対応をするため、マニュアル等を作成しているか。	A	
4	感染症の予防に対し、学校保健安全法に基づく出席停止等の適切な対応ができる体制が整っているか。	B	
5	環境衛生における緊急時(異物混入、化学物質の発生等)の検査体制が担保されているか。	B	
総 評	各種のマニュアルを見直し、学校の実態に合わせながら児童への緊急対応がスムーズにできるようなものになっている。熱中症対応については、熱中症指数を職員室前にわかりやすいように掲示したり、放送で注意喚起するなど職員や児童の意識付けを行っている。警戒アラートが出された時にも、予定していた活動を見直す柔軟な体制も整っている。		

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 16		学校安全に関すること
No.	評 価 項 目	評 定
1	児童の通学方法・通学経路について、どのように確認を行っているか。	B
2	登下校時の児童の安全対策として、どのような取組を行っているか。	B
3	災害発生時や事件発生時等、緊急時の登下校の安全対策を、どのように講じているか。	B
4	遠距離通学者(電車による通学等)に対して、特別な安全対策を講じているか。	A
5	交通安全や災害発生時の安全に関する指導(避難訓練、交通安全教育等)が適切に行われているか。	A
6	学校施設・設備について安全点検が適切に行われているか。	B
7	災害発生時や事件発生時等における児童の安全確保の対策及び危険発生時に対処するための職員の訓練等をどのように講じているか。	B
総 評	校庭や教室などよく整理されており、避難経路がしっかり確保されている。送迎時間を低・中・高学年でずらして渋滞緩和に努めたり、送迎時の安全確保のための教員配置を工夫したりするなど、保護者とも連携しながら登下校時の安全対策を充実させている。また、様々な状況を想定した避難訓練を行うだけでなく、保護者への引き渡し訓練や警察署による交通安全教室なども行うなど、緊急時に対するシミュレーションがよくなされている。	

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 17		学校評価の実施状況に関すること	
No.	評 価 項 目	評 定	
1	学校評価の項目は適切か。	B	
2	学校評価が年に1回以上定期的に行われているか。	B	
3	学校評価の結果を、翌年度の指導目標等の改善に活用しているか。	B	
4	アンケート等を実施し、学校評価を行う上での参考としているか。	B	
5	学校評価の結果を保護者等に公開しているか。	B	
総 評	学校評価は文部科学省や玉村町の学校のを参考に作成し、年に2回実施している。アンケート結果を基に職員で話し合いを行うことで、PDCAサイクルを意識した適切な学校評価が行われている。学校評価の結果や要望に対する改善策については、学校だよりやホームページで公開し、広く理解を図っている。		

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 18		情報公開・個人情報の保護に関すること
No.	評 価 項 目	評 定
1	学校に関する情報について、学校便りや学級便りの発行などをおして、主として保護者を対象とした情報の伝達・公開が適切に行われているか。	B
2	情報公開手段として、ホームページを活用するなどの工夫がなされているか。	A
3	「学校における生徒等に関する個人情報の適正な取扱いを確保するために事業者が講ずべき措置に関する指針」(文部科学省告示第161号)を参考に、児童等の個人情報の保護に配慮しているか。	B
4		
5		
6		
7		
総 評	児童の個人情報については取扱指針を決め、写真撮影や保存の手順を定めたり、教師によるスマートフォンでの撮影や情報の持ち帰りを禁止したりしている。ホームページの運用は外部事業者に委託し、分かりやすい情報提供に努めているほか、学校生活に関する記事は学校からアップし、日々の様子を迅速に家庭等に伝えるようにしている。	

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

表 題 19		構造改革特別区域計画に関すること	
No.	評 価 項 目	評 定	
1	英語による授業に児童が対応できるよう配慮がなされるとともに、児童の実態に応じて適切に指導が行われているか。	A	
2	特区計画における英語科の設置及び英語イマージョン教育を実践するための指導計画が作成されており、それに基づく指導が行われているか。	A	
3	児童の英語に関する到達度を計画的に把握するとともに、指導と評価が一体化した授業が行われているか。	A	
4			
5			
6			
7			
総 評	英語指導については本校の最も重点を置いているところであり、児童が英語コミュニケーションを通して成長できるように、様々な指導の工夫がなされている。教員が楽しい学習の雰囲気をつくり、子供の学習への意欲を高めて活気のある授業を展開している。また、対話的、問題解決的な学習で児童の思考力を育てているほか、学習アプリも積極的に活用して児童が自分で学習に取り組めるようにもしている。それに加えて、英語力に課題のある児童には個別の補充学習を実施している。日本人教員と外国人教員が連携しながら学校全体で児童の英語力向上を図っている。		

令和7年度《玉村町国際教育特区》フェリーチェ玉村国際小学校学校評価結果表

令和7年8月 玉村町作成

Ⅲ 経営に関すること

評 価 結 果

- 平成 27 年 4 月に会社法人立フェリーチェ玉村国際小学校として開校し10年を経過したが、一般企業と同様に企業の成長ライフサイクルを当社に当てはめれば、成熟期と考えられる。前期からは小学校の全学年が 2 クラスになった。今後は維持することを念頭に、経営基盤の強化を進めていく段階になった。
- CF管理で見たように、営業CFの減価償却費は財務CFの返済原資となっており、利益は現金残高の増加に寄与している。計画的な売上が見込め、新たな投資CFは当面発生しないため、内部留保が進む計画となっている。時間はかかるものの財務の安全性が高まる流れは確立している。
- 昨年度から取り組んでいるチーム担任制(学年担任、教科担任)により、教育の質を維持しつつ人件費を抑制することが期待できる。
- 今年度の9月から開始予定の当校の英語教育で培ったノウハウを活用した「出前授業」や教材等の販売などの新規事業が、収益力の強化に資することを期待したい。